



第46期 中間事業報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



小松ウオール
KOMATSU WALL

[我が社の基本理念]

われわれは、常に一流を指向し、内に礼節、勤勉、誠実を心がけ、積極果敢に行動します。

- 一、常に需要の動向を的確にとらえ、より良いものを、より安く供給します。
- 一、顧客に奉仕し、明るい職場環境をつくり、従業員の生活向上を図ります。
- 一、限りない情熱と、たゆまぬ努力を重ね、企業の発展を期し社会のために尽くします。



第三工場



品質方針

- ・ユーザーニーズに的確に対応した品質の、製品、サービスを提供し、お客様の永続的な満足と信頼を得る。
- ・品質マネジメントシステムの継続的改善を図る。

環境理念

小松ウオールは、かけがえのない地球環境を守るため「企業活動と環境保全の調和」を経営の重要課題のひとつとして捉え、地球環境保全の活動を通して社会に貢献します。



代表取締役社長

加納 裕

1 会社の経営の基本方針

当社は、間仕切の専門メーカーとして、ビルの高層化・建物の工期短縮という建設業界の要請に即して、受注から設計、製造、施工、サービスまでの自社一貫システムをもって、様々な新製品を社会に送り出し高い評価を得てまいりました。今後においても当社の専門分野である間仕切関連製品を中心に、新製品の開発、サービスの向上を通じて、着実な業容の拡大と安定した収益を継続して上げることにより、株主・取引先・社員との共存共栄を図って社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

2 利益配分に関する基本方針

利益配分に関する基本的な考え方は、収益状況に対応した上で、株主還元の充実を図り、安定配当を継続することと、その一方で企業体質の強化、および業容の拡大に備えて内部留保を充実することも目標としております。この内部留保につきましても、業界内部における競争激化に対処し、コスト競争力を高めるための設備投資等の資金需要に備えるためであり、将来的には収益の向上を通じて株主の皆様へ還元できるものと考えております。

3 目標とする経営指標

当社が目標としている経営指標は、売上高経常利益率10%以上および総資産経常利益率10%以上であります。これらは事業効率向上と株主価値の最大化を図るための資本効率の向上を目指したものであり、継続的に達成できる体質を目指しております。具体的には、徹底した合理化、原価低減、効率の高い設備投資等により一人当たりの生産性を高めるとともに、創業時より採用している小分割独立採算制度により、従業員一人ひとりが常に利益を意識した活動をしてまいりました。また、利益増とともに総資産の圧縮を目指し、借入金返済、支払手形廃止、原材料、製品在庫等棚卸資産の圧縮等を実施してまいりました。

今後も目標達成に向けて諸施策を実施し、業績および株主価値の向上を図ってまいりたいと存じます。

4 中長期的な会社の経営戦略

今後の間仕切業界は、東日本大震災の影響を受け、大都市圏を中心に国内における地震・災害に対する建物・建築物への関心が高まり、製品に対する顧客ニーズが多様化・細分化するものと考えられます。また、景気回復までの期間について震災からの復旧が長期化する予想もあり、企業の設備投資計画の遅れ、これに伴う価格競争、厳しい受注競争が継続するものと予想できます。

このような状況下において、間仕切市場占有率のアップと間仕切関連製品であるドア製品・トイレブース製品の拡充に注力し、厳しい価格・受注競争に耐えられる営業力・生産コストの低減は不可欠であり、当社は、着実な業容拡大と安定した収益確保のために、以下の中期経営計画を策定、実施してまいります。

- ①営業力の増強と販売網の拡充、生産部門との円滑な連携を行うことにより、エンドユーザーに直結し、ニーズに沿った製品の販売・生産体制の構築に取り組んでまいります。
- ②社内情報データ管理システムの再構築により業務の効率化を図り、生産性向上を強化してまいります。
- ③高齢化社会に対応した製品、環境にやさしい製品を戦略製品と位置付け、お客様のニーズに十分に 대응できる新製品の開発を積極的に取り組んでまいります。

5 会社の対処すべき課題

当社では、収益重視の経営を基本とし、今後も収益確保に努め、業績拡大に取り組んでまいります。また、管理体制面では、内部統制を一層強化するとともに、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に努めてまいります。

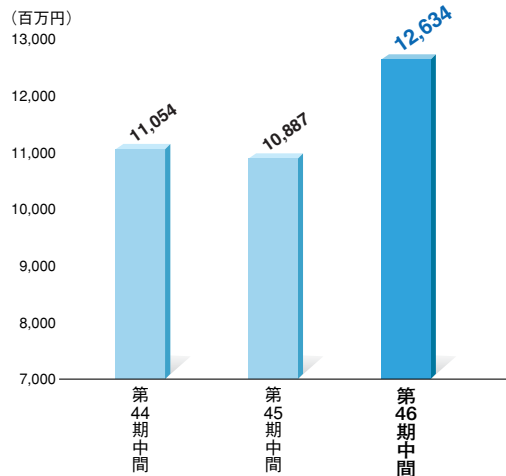
1.経営成績

1 当中間期の概況

当中間期における国内経済は、復興需要等を背景に、景気持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機や長期化する円高、海外経済の低迷等、国内経済に影響を与え得るリスクは依然として存在しており、先行きは非常に不透明な状況となっております。

このような状況にあって、当社はお客様重視の営業活動を展開し「顧客ニーズに対応した製品」を提供してまいりました。設計指定活動の推進を継続し、今年度は特にエンドユーザーへの直接販売に加えて、建材ルート販売に注力した営業活動を積極的に進めた結果、売上が好調に推移しました。また、全社を挙げて原価低減に努め、個別工事案件毎に適正な利益率の確保を念頭において受注活動を行ってまいりました。

■ 売上高

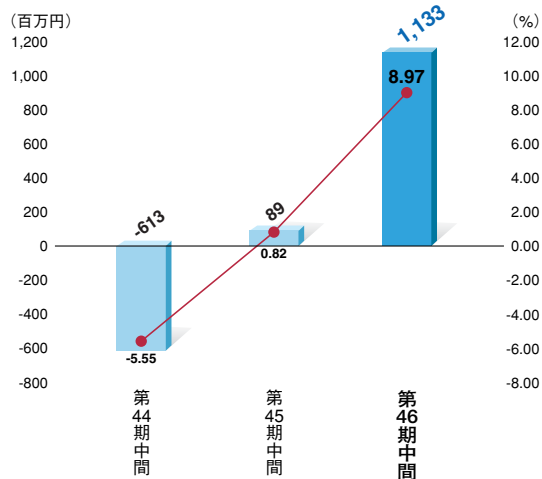


営業の概況

これらの結果、当中間期につきましては、用途別では、民間向けで事務所・オフィス、病院・福祉施設を中心に売上高が好調に推移しております。官公庁向けは病院・福祉施設への納入が堅調に推移しました。品目別では、主要品目である可動間仕切をはじめ、固定間仕切、トイレブース、移動間仕切が好調に推移しており、全体として売上高は126億34百万円（前年同期比16.0%増）となりました。また、受注残高におきましても前年同中間期と比較して31.7%増加しております。

利益面につきましては、徹底した原価低減活動と生産部門における設備投資の効果が顕著に現れ始め、売上総利益率が前年同期比5.5ポイント改善し、着実に安定した収益を確保できる体制へと戻りつつあります。また、全社を挙げて販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は10億33百万円（前年同期比9億52百万円増）となり、経常利益は11億33百万円（前年同期比10億44百万円増）、中間純利益が6億65百万円（前年同期比6億61百万円増）となりました。

■ 経常利益
● 売上高経常利益率



2 配当金の状況

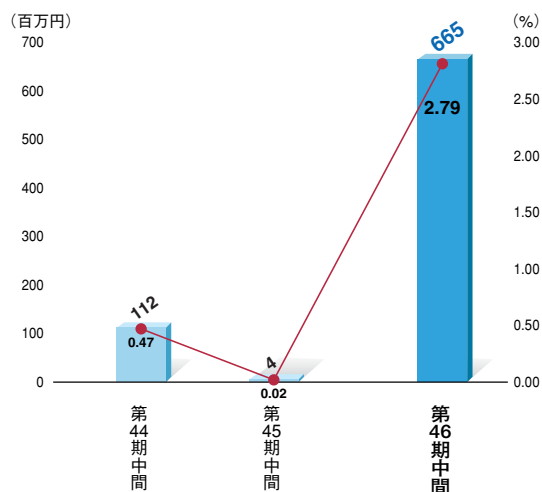
当中間期の配当につきましては、10月18日開催の取締役会におきまして、1株当たり15円00銭と決めさせていただきました。

3 通期の見通し

通期の国内経済につきましては、復興需要や各種の政策効果等を背景に景気が持ち直していくことが期待されるものの、長期化する円高、海外経済の低迷等により、景気の回復力は弱く推移するものと予想しております。

間仕切業界におきましても、東日本大震災の影響を受け、国内では地震・災害に対する関心が高まり、デザインや意匠性だけではなく耐震性や堅牢性に重きをおいた需要の拡大等、これまで以上に顧客ニーズが多様化すると考えております。

■ 中間純利益
● 自己資本利益率



このような状況下において、当社は設計指定活動による受注活動を積極的に推進しながら、東日本大震災の復旧・復興に当社製品を通じて可能な限り貢献するとともに、今後も引き続き需要が見込まれる病院・医療施設向けの可動間仕切、軽量ドア、トイレブースの拡販に努め、永年培った間仕切のノウハウを提供することで、受注強化を図ってまいります。

これらの状況と受注残高の消化等を考慮し、通期の業績予想としましては、売上高は前期比9.6%増の270億円、営業利益は前期比78.0%増の22億円、経常利益は前期比81.3%増の23億円を見込み、当期純利益は前期比107.0%増の13億50百万円を見込んでおります。

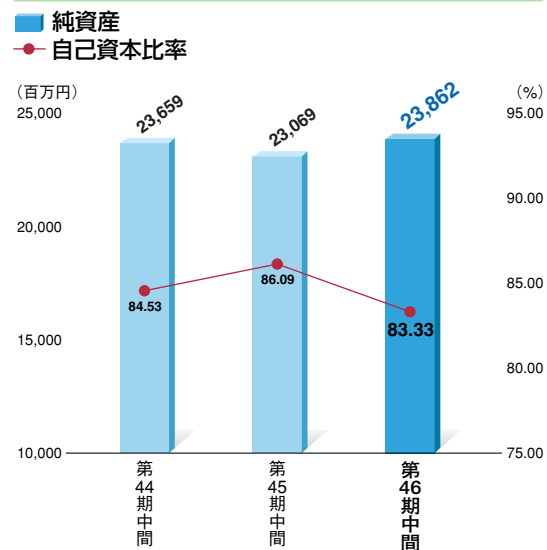
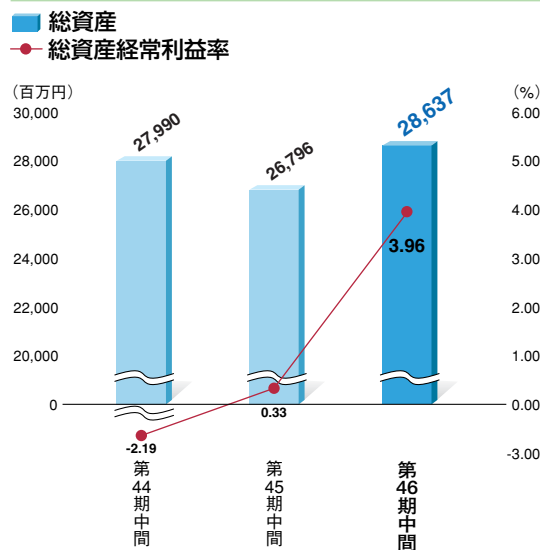
2. 財政状態

1 資産、負債、純資産の状況

当中間期末の財政状態は、総資産は286億37百万円となり、前事業年度末と比較して3億5百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は186億92百万円となり、前事業年度末と比較して7億8百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金16億80百万円等の増加と、受取手形及び売掛金11億21百万円等の減少であります。固定資産は99億45百万円となり、前事業年度末と比較して4億2百万円の減少となりました。主な要因は、投資その他の資産の保険積立金3億20百万円の減少等であります。

負債の部では、流動負債は33億88百万円となり、前事業年度末と比較して1億83百万円の減少となりました。主な要因は、賞与引当金1億58百万円等の増加と、買掛金3億



30百万円等の減少であります。固定負債は13億86百万円となり、前事業年度末と比較して15百万円の減少となりました。

純資産の部では、238億62百万円となり、前事業年度末と比較して5億4百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加等によるものであります。以上の結果、自己資本比率は83.3%となりました。

2 キャッシュ・フローの状況

当中間期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、49億13百万円（前年中間期は60億59百万円）となり、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は、16億38百万円（前年中間期は29億1百万円の増加）となりました。これは主に、税

引前中間純利益11億27百万円、売上債権の減少額11億15百万円等の増加と、法人税等の支払額4億59百万円、仕入債務の減少額3億30百万円等の減少によるものであります。

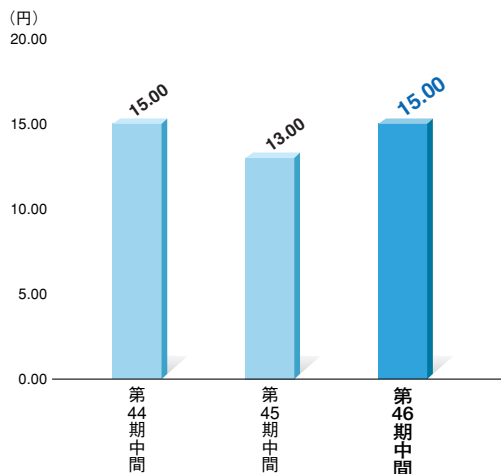
② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、3億7百万円（前年中間期は6億73百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻と預入に伴う純支出5億円、有形固定資産の取得による支出2億4百万円等と、保険積立金の払戻による収入4億27百万円等によるものであります。

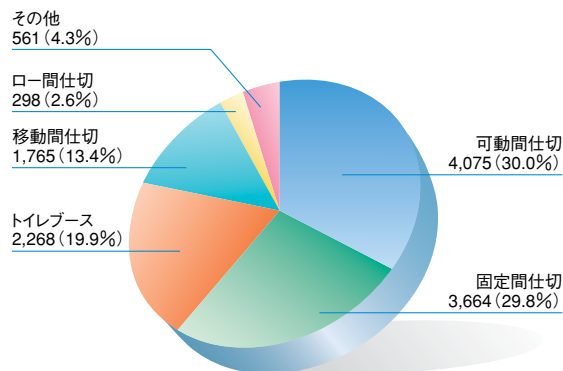
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、1億51百万円（前年中間期は1億35百万円の使用）となりました。これは配当金の支払額等によるものであります。

■ 1株当たり中間配当金



品目別売上高構成比（単位：百万円）



財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第44期中間 (平成22年9月30日現在)	第45期中間 (平成23年9月30日現在)	第46期中間 (平成24年9月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	16,960	16,251	18,692
現金及び預金	7,759	8,059	9,113
受取手形及び売掛金	8,070	7,297	8,710
有価証券	5	—	—
製 品	83	112	82
仕 掛 品	181	157	177
原材料及び貯蔵品	230	240	246
そ の 他	694	456	457
貸倒引当金	△ 65	△ 71	△ 95
固定資産	11,030	10,544	9,945
有形固定資産	7,510	7,041	6,923
建物及び構築物	5,448	5,361	5,386
機械装置及び運搬具	3,598	3,654	3,729
土 地	3,631	3,631	3,670
そ の 他	862	806	834
減価償却累計額	△ 6,030	△ 6,413	△ 6,697
無形固定資産	435	411	342
投資その他の資産	3,084	3,091	2,679
保険積立金	2,010	2,013	1,702
そ の 他	1,223	1,259	1,143
貸倒引当金	△ 149	△ 181	△ 166
資 産 合 計	27,990	26,796	28,637

科 目	第44期中間 (平成22年9月30日現在)	第45期中間 (平成23年9月30日現在)	第46期中間 (平成24年9月30日現在)
(負債の部)			
流動負債	2,919	2,312	3,388
買 掛 金	1,546	1,159	1,179
未払法人税等	37	42	564
賞与引当金	361	392	724
そ の 他	973	717	920
固定負債	1,411	1,414	1,386
退職給付引当金	1,180	1,182	1,151
役員退職慰労引当金	211	211	211
そ の 他	19	19	23
負 債 合 計	4,330	3,726	4,775
(純資産の部)			
株主資本	23,669	23,093	23,883
資 本 金	3,099	3,099	3,099
資本剰余金	3,031	3,031	3,031
利益剰余金	17,999	17,567	18,594
自 己 株 式	△ 461	△ 605	△ 842
評価・換算差額等	△ 9	△ 24	△ 21
その他有価証券評価差額金	△ 9	△ 24	△ 21
純 資 産 合 計	23,659	23,069	23,862
負債・純資産合計	27,990	26,796	28,637

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第44期中間 (自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日)	第45期中間 (自 平成23年4月 1 日 至 平成23年9月30日)	第46期中間 (自 平成24年4月 1 日 至 平成24年9月30日)
売 上 高	11,054	10,887	12,634
売 上 原 価	8,719	7,808	8,357
売 上 総 利 益	2,335	3,079	4,276
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,019	2,998	3,243
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△ 684	80	1,033
営 業 外 収 益	78	19	110
受 取 利 息	8	1	4
受 取 配 当 金	3	3	3
受 取 保 険 金	50	0	85
そ の 他	15	13	16
営 業 外 費 用	6	10	9
売 上 割 引	6	10	9
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	△ 613	89	1,133
特 別 利 益	562	0	0
固 定 資 産 売 却 益	0	0	0
抱 合 せ 株 式 消 滅 差 益	562	—	—
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—	—	0
特 別 損 失	48	8	6
固 定 資 産 除 売 却 損	21	8	6
減 損 損 失	14	—	—
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	12	—	—
税 引 前 中 間 純 利 益 又 は 税 引 前 中 間 純 損 失 (△)	△ 99	80	1,127
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	23	30	545
法 人 税 等 調 整 額	△ 235	45	△ 83
中 間 純 利 益	112	4	665

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第44期中間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	第45期中間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	第46期中間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△ 99	80	1,127
減価償却費	273	335	299
減損損失	14	—	—
貸倒引当金の増減額(△:減少)	8	△ 61	△ 8
受取利息及び受取配当金	△ 11	△ 5	△ 7
抱合せ株式消滅差損益(△:益)	△ 562	—	—
売上債権の増減額(△:増加)	692	3,250	1,115
たな卸資産の増減額(△:増加)	△ 94	△ 27	△ 51
仕入債務の増減額(△:減少)	12	△ 590	△ 330
退職給付引当金の増減額(△:減少)	21	△ 14	△ 15
その他(純額)	△ 295	△ 50	△ 36
小 計	△ 40	2,914	2,092
利息及び配当金の受取額	12	5	6
法人税等の支払額	△ 27	△ 21	△ 459
法人税等の還付額	167	3	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	111	2,901	1,638
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 3,000	△ 2,000	△ 3,000
定期預金の払戻による収入	2,800	1,500	2,500
有形固定資産の取得による支出	△ 598	△ 116	△ 204
有形固定資産の売却による収入	1	0	1
無形固定資産の取得による支出	△ 79	△ 43	△ 34
有価証券の償還による収入	300	—	—
投資有価証券の売却による収入	—	—	0
投資有価証券の償還による収入	—	4	—
保険積立金の払戻による収入	455	—	427
その他(純額)	△ 32	△ 19	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 153	△ 673	△ 307
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	△ 0	—	△ 0
配当金の支払額	△ 159	△ 135	△ 151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 159	△ 135	△ 151
現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	△ 200	2,092	1,180
現金及び現金同等物の期首残高	3,420	3,966	3,732
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	339	—	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,559	6,059	4,913

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

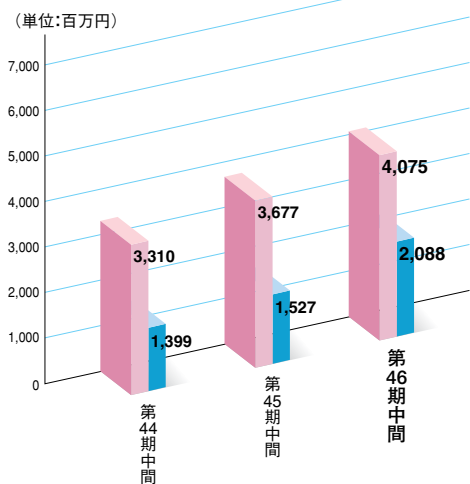
可動間仕切

レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、移設が可能な間仕切であります。



マイティ

売上高
中間期末受注残高



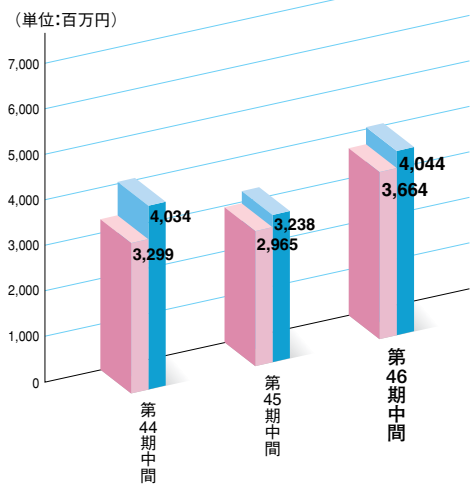
固定間仕切

建物付帯工事として溶接により躯体に取付ける間仕切であります。



カムドア

売上高
中間期末受注残高



品目別情報

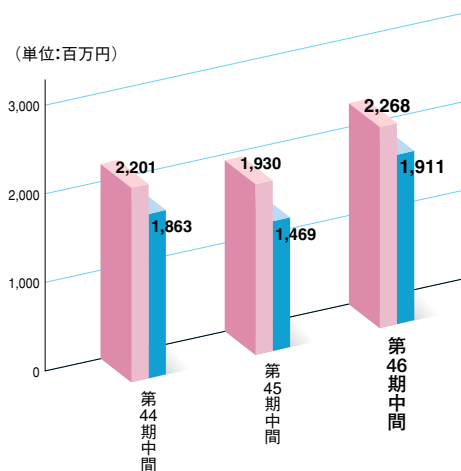
トイレブース

ユニット化したトイレ専用の間仕切であります。



サニティブース

売上高
中間期末受注残高



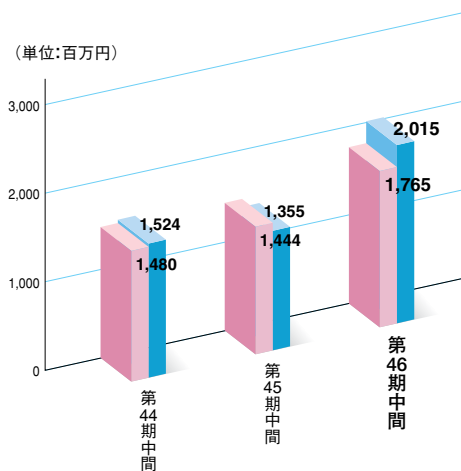
移動間仕切

ホテルの宴会場等の仕切りとして、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。



小松ランニング

売上高
中間期末受注残高



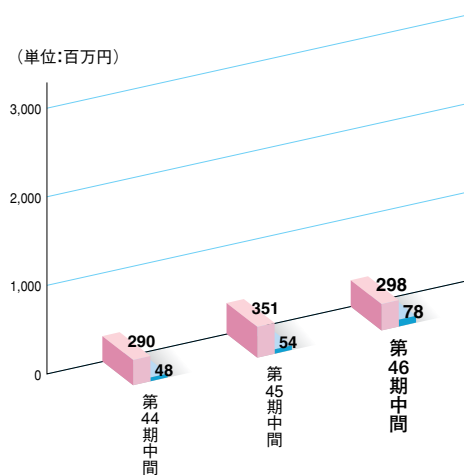
□一間仕切

主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。



モールシステム

売上高
中間期末受注残高



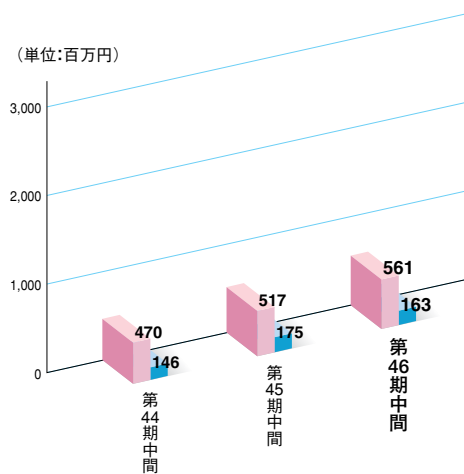
その他

主に、壁面化粧銅板パネルの金属工事ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。



サーフィスウォール

売上高
中間期末受注残高



発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	10,903,240株
単元株式数	100株
株主数	10,710名
株主1人当たり平均持株数	1,018株

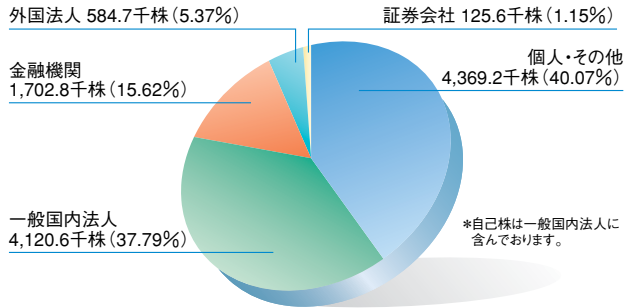
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社 アネシス	1,730,000	17.13
加納株式会社	701,849	6.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	522,400	5.17
株式会社 北國銀行	442,280	4.38
小松ウオール工業従業員持株会	278,740	2.76
有限会社 マルヨ	228,000	2.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	182,900	1.81
加納裕	162,012	1.60
明治安田生命保険相互会社	154,600	1.53
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	153,200	1.52

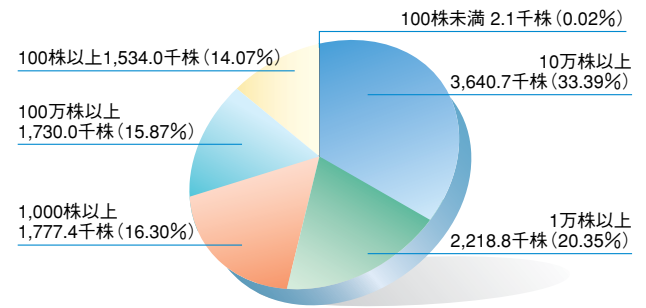
(注) 1. 持株比率は自己株式(805,470株)を控除して計算しております。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。

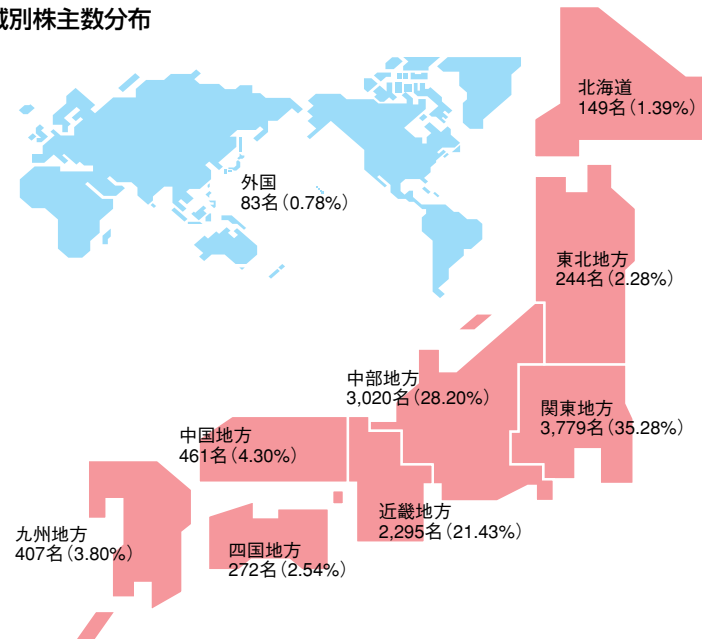
所有者別株式数分布



所有株数別株式数分布



地域別株主数分布



商号 小松ウォール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.)

設立 昭和43年1月22日

資本金 3,099,945,552円

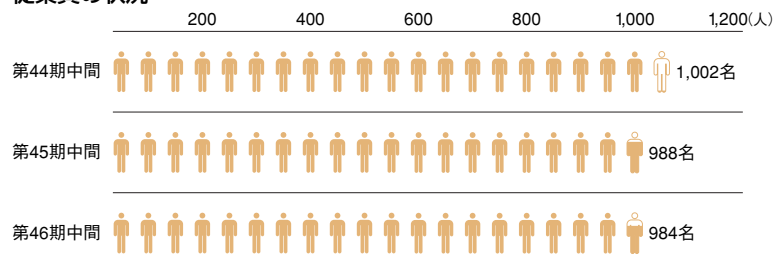
事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、
販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

役員	代表取締役社長	加納裕
	取締役	牛島覚
	取締役	吉岡雄
	取締役	木戸朗
	取締役	鈴木裕
	常勤監査役	本山義夫
	監査役	山口三
	監査役	宮前徹悟

従業員数 984名

(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー(計41名)は含まれておりません。

従業員の状況



本社社屋

事業所

本社・工場

本第	一	工	社	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3131(代)
第	二	工	場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目6	☎(0761)21-7161(代)
第	三	工	場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3374(代)
				〒923-8643	小松市工業団地二丁目16	☎(0761)23-5191(代)

支店・営業所

札幌	支店	〒063-0850	札幌市西区八軒十条西10丁目1-30	☎(011)611-5122(代)
仙台	支店	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)788-2181(代)
新潟	支店	〒950-0951	新潟市中央区鳥屋野字中沼314	☎(025)283-1595(代)
東京	支店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2351(代)
東京	支店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2951(代)
東京	支店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2961(代)
横浜	支店	〒222-0033	横浜市港北区新横浜三丁目18-14 住生新横浜第2ビル8F	☎(045)474-3733(代)
長野	支店	〒399-0034	松本市野溝東一丁目16-22	☎(0263)26-8731(代)
名古屋	支店	〒467-0852	名古屋瑞穂区明前町17-7	☎(052)819-6021(代)
京都	支店	〒612-8393	京都市伏見区下鳥羽渡瀬町132番地	☎(075)621-1611(代)
大阪	支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀二丁目2-4 土佐堀ダイビル3F	☎(06)6447-0971(代)
大阪	支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀二丁目2-4 土佐堀ダイビル3F	☎(06)6447-9261(代)
広島	支店	〒731-5123	広島市佐伯区五日市町大字昭和台28-5	☎(082)924-8890(代)
福岡	支店	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092)623-8581(代)
青森	営業所	〒030-0811	青森市青柳一丁目7-4	☎(017)732-3121(代)
盛岡	営業所	〒020-0816	盛岡市中野一丁目17-3	☎(019)606-1631(代)
福島	営業所	〒963-0111	郡山市安積町荒井字大久保28-1	☎(024)946-0601(代)
前橋	営業所	〒371-0831	前橋市小相木町36-1	☎(027)253-0221(代)
宇都宮	営業所	〒321-0924	宇都宮市下栗一丁目23-21	☎(0828)633-0721(代)
水戸	営業所	〒310-0046	水戸市曙町10-1	☎(029)251-0601(代)
さいたま	営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町四丁目43-20	☎(048)651-5321(代)
千葉	営業所	〒262-0013	千葉市花見川区積橋町1621-7	☎(043)257-5511(代)
東京	営業所	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-5571(代)
八王子	営業所	〒192-0024	八王子市宇津木町593-1	☎(042)639-7711(代)
川崎	営業所	〒212-0053	川崎市幸区下平間130 サンガーレンビル1F	☎(044)543-6851(代)
浜松	営業所	〒435-0036	浜松市南区渡瀬町304-1	☎(053)411-8131(代)
岐阜	営業所	〒500-8357	岐阜市六条大溝一丁目12-9	☎(058)268-7101(代)
三重	営業所	〒514-0832	津市南中央30-19	☎(059)222-3531(代)
和歌山	営業所	〒640-8341	和歌山市黒田字門田158-5	☎(073)473-8171(代)
奈良	営業所	〒630-8113	奈良市法蓮町986-2	☎(0742)26-5751(代)
神戸	営業所	〒658-0044	神戸市東灘区御影塚町一丁目9-33	☎(078)856-8181(代)
岡山	営業所	〒700-0952	岡山市北区平田101-102	☎(086)243-7581(代)
高松	営業所	〒760-0078	高松市今里町二丁目12-7	☎(087)834-6011(代)
松山	営業所	〒791-8041	松山市北吉田町1006-32	☎(089)971-9941(代)
北九州	営業所	〒802-0979	北九州市小倉南区徳力新町二丁目9-20	☎(093)965-2311(代)
熊本	営業所	〒861-8005	熊本市北区龍田陣内三丁目12-1	☎(096)337-1711(代)
宮崎	営業所	〒880-0032	宮崎市霧島五丁目43-1	☎(0985)24-0551(代)
鹿児島	営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-132	☎(099)260-2601(代)

施工部門

東日本	統括課	〒134-0086	東京都江戸川区臨海町三丁目6-2	☎(03)3878-5591(代)
西日本	統括課	〒564-0014	吹田市吹東町67-1	☎(06)4860-9311(代)
仙台	サービスセンター	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)788-2551(代)
さいたま	サービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原町四丁目43-20	☎(048)662-2131(代)
横浜	サービスセンター	〒222-0036	横浜市港北区小机町1911	☎(045)475-3931(代)
名古屋	サービスセンター	〒467-0852	名古屋瑞穂区明前町17-7	☎(052)819-6821(代)
京都	サービスセンター	〒612-8393	京都市伏見区下鳥羽渡瀬町132番地	☎(075)621-1811(代)
大阪	サービスセンター	〒587-0002	堺市美原区黒山784-2	☎(072)361-5811(代)
神戸	サービスセンター	〒658-0044	神戸市東灘区御影塚町一丁目9-33	☎(078)856-4646(代)
広島	サービスセンター	〒731-5123	広島市佐伯区五日市町大字昭和台28-5	☎(082)924-5771(代)
福岡	サービスセンター	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092)623-8591(代)

新製品紹介

●マイティ-Lux・S80 (平成24年4月発売開始)

マイティ-Lux・S80は、不燃材料を使用したW構造の学校用間仕切です。
基本構造を溶接の枠組みと分割部材で構成することにより、構造強度の向上と、引戸や開口部以外の多彩なパネル変更を両立しました。



株式についてのご案内（株主メモ）

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告（<http://www.komatsuwall.co.jp>）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

小松ウォール工業株式会社

石川県小松市工業団地一丁目72番地
URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

